

船舶事故調査報告書

平成29年4月20日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|--|
| 事故種類 | 乗揚 |
| 発生日時 | 平成28年11月3日 14時25分ごろ |
| 発生場所 | 愛媛県伊予市郡中港南西方沖 郡中港西防波堤灯台から真方位217° 1,750m付近 (概位 北緯33°45.6′ 東経132°41.6′) |
| 事故の概要 | プレジャーボートKeep on Ⅲは、北東進中、干出離岸堤に乗り揚げた。 |
| 事故調査の経過 | 平成28年12月7日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | プレジャーボート Keep on Ⅲ、5トン未満（長さ5.97m） |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 293-35679愛媛、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、二級小型 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | 船底外板に亀裂、推進器翼に折損 |
| 気象・海象 | 気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約2.2m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期 |
| 事故の経過 | <p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人1人を乗せ、小型船舶操縦士の免許を取得して初めての航海で、郡中港南西方沖を手動操舵により北東進していたところ、衝撃を受けて停止した。</p> <p>船長は、‘郡中港付近に設置されていて高潮時に没する干出離岸堤’（以下「本件離岸堤」という。）に乗り揚げたことを知った。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.2m、船尾約0.5mであった。</p> <p>船長は、陸岸から距離を離さないように航行していた。</p> <p>本件離岸堤は、本事故当時には海図（W164）に記載されておらず、本事故後、海上保安庁水路通報（2016年731項）で情報が公表された。</p> |
| 分析 | <p>本船は、船長が、本件離岸堤の存在を知らなかったことから、本件離岸堤に向かって航行したものと考えられる。</p> <p>船長は、本事故当時、本件離岸堤の情報が海図に記載されていなかったことから、本件離岸堤の存在を知らなかったものと考えられる。</p> |
| 原因 | 本事故は、船長が、本件離岸堤の存在を知らなかったため、本件離岸堤に向かって航行し、本船が本件離岸堤に乗り揚げたものと考えられる。 |
| 参考 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 陸岸に近い海域には海図に記載されていない障害物が存在するお |

| | |
|--|----------------------------------|
| | それがあるので、十分に水深のあるところを航行することが望ましい。 |
|--|----------------------------------|